



研究所だより

那覇市立教育研究所

那覇市金城 3-5-3

Tel 917-3441 Fax 857-8681

naha-c@naha-c.nahaken-okn.ed.jp

所長 田中 浩三



数値で見る事業の振り返り！

所長 田中 浩三

那覇市立教育研究所は、広く教育に役立つことを願って、直面している課題を積極的に取り上げ、教育実践に結びつけた教育活動の推進に寄与する。

これは、創立以来脈々と引き継がれてきた当研究所事業に対する方針であり、それと同時に当研究所の果たす役割や使命を言い表した文言だと受け止めている。当研究所ではこの方針のもと、本市における教育課題やニーズ等を踏まえ、今年度も各種事業を推進してきた。そこで一年のまとめとして、次の三事業の実績等を数値をもとに振り返ってみたい。

①「教職員研修」事業では、研修・講座等十九回を実施し、教職員一・九五人が受講した。その際の自己評価（四段階をみるとほとんどの講座で『大変ためになった』『ためになった』の肯定的評価が九十%以上の受講者から得られた。また各学校からの指導主事（四名）要請については、校内研究等に対して二〇七回の対応ができ、授業改善等の支援を試みる事ができた。

②「情報教育推進」事業では、今年度からホームページ更新・研修等の主要要請に応え、これまで二十校に対応してきた。また夏期コンピュータ五講座に対し一〇一名の参加者があり、九十%以上の肯定的評価を頂いた。さらに市内各学校の情報機器のトラブル対応依頼に対し保守員（四名）が九〇〇回余の訪問をし、修理等の支援ができた。

③「教育に関する調査・研究」事業では、市内中学校一・二年生に「標準学力調査」を実施し、昨年度との経年比較等をもとに生徒個々の達成状況を提示した。その後の各学校での授業改善等への活用率が九七%に達していた。また、市内の「活用教職員アンケート」では、八四%の回収率のもと、結果・分析を行い課題等把握し、次年度の「活用講座開催（八回）」等へ活かしている。

以上のように、本研究所は一年を通して学校の教育実践に結びつくような事業を推進してきた。今回得られた数値は次年度への指標と捉え、さらにステップアップできるように努力していきたいと考えているところである。

第99期 研究員 原稿検討会 所内講座

2月14日(木)15日(金)に「原稿検討会」が行われました。



納得のいく研究論文に仕上げられるように、時間の許す限り、見直し、修正し、指導主事にご指導を仰ぎながら、提出できるようにします。（洲鎌）



所長や指導主事の先生方に検討してもらうごとに、論文内容が良くなっていくことを実感しました。最後まで計画的に進めていきます。（仲地）



今回頂いたアドバイスを論文の中にかき、自分の能力のベストの論文が書き上がるように後ひと踏ん張りしたいと思います。（松茂良）



自分の言いたいことや大事にしたいこと、授業の実践や児童の変容、成果と課題が、言葉を選びながら無駄なく記述されてきているように思う。（石川）

1月13日(水)に所外講座「那覇市史跡めぐり」が行われました。



首里城が防衛機能を備えていなかったことや守礼の邦の謂われなど、世界に誇れる文化が身近にあることを知り、勉強になったと同時に生まれ育った那覇の町を誇りに思いました。（洲鎌）



資料館に「御後絵(うぐい)」という亡くなった後に描かれる王の絵もあり、古塚課長が王様の描かれている大きさや椅子の飾り龍のこと、後ろの絵が日や月、波を表していることなどをお話して下さい。今まで漠然としか見ていなかった。絵からわかること、疑問に思うことを大事にしていきたい。（石川）

高校時代は毎日石畳をのぼって登校し玉陵も校舎からよく眺めていました。でも肝心の歴史については全くといっていい程知識がありませんでした。今回の研修で、もっと首里の歴史について学びたいという気持ちが強くなりました。（松茂良）



国仲指導主事



古塚達朗課長

琉球王国の歴史や文化に触れながら首里城をきわめ、もっと首里の歴史について学びたいという気持ちが強くなりました。（仲地）

研究所からのお知らせ

インストラクター派遣事業

学校における教育の情報化推進のためにインストラクターを派遣し、児童生徒の情報活用能力及び教師の指導力向上に寄与することを目的にしています。

《これまでの活用例》

○教職員向け……HP 作成や更新, Excel・PowerPoint 操作, SKYMENU 基本操作他

○児童生徒向け……Net モラル, PowerPoint, ジャストスマイル

NARAE ネット (市教委と琉大教育学部との連携・協力事業)

琉球大学の先生方を学校にお招きして教材研究・授業づくり・指導法等と一緒に研究することができます。

★詳しくは 研究所HP をご覧ください。

3月6日(水)に所外講座「自然散策」が行われました。



研究所に入所した時から、一番の楽しみだった自然散策。2億5千万年前という時の流れや、生命の不思議さやおもしろさなどを体感することができました。（洲鎌）

大学院大学は本当に別世界の空間で、全てが「本物」っていう感じがした。研究室まで見られたらもっと良かったなと少しだけ残念だったが、いい経験になった。（松茂良）

事前学習の所長の講座では、植物や森、岩石、地層と違いを理解することができ、玉村主事からは、植物観察の方法等があった。自分の知らない沖縄を感じる事ができとても楽しい研修になった。（仲地）

植物の名前など少しずつ覚えていきたい。登山の上り下りは大丈夫だったが、頂上の高さだけはためだった。この機会がなければ登ることはなかったと思う。いい経験になった。（石川）

